

別添1

# 都市再生整備計画(第4回変更)

ほくりくしんかんせんじょうえつみょうこうえきしゅうへん  
北陸新幹線上越妙高駅周辺地区(第二期)

にいがたけん じょうえつし  
新潟県 上越市

平成29年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	上越市	地区名	北陸新幹線上越妙高駅周辺地区(第二期)	面積	376 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

### 目標

- 大目標: 交通の利便性を生かした広域的な拠点性を強化する魅力的な都市づくり  
 目標1: 新しい玄関口にふさわしい地区の特性を活かした高い利便性や快適性を有する質の高い新都市空間を形成する  
 目標2: 広域的な拠点性を強化し多様な都市機能を誘導する土地利用の促進を図る環境整備を推進する

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、上越市の南部に位置する、北陸新幹線上越妙高駅を中心とする地区である。
- ・矢代川流域の標高15m～30mの比較的平坦な地域であり、現在、大部分は農地(水田)が占めており、市街地は主要道路沿道に形成されている。
- ・北西部には上越自動車道上越高田インターチェンジがあり、平成27年春開業予定の北陸新幹線新駅の設置とあわせて、今後、広域交通の利便性が飛躍的に向上することが期待されている。
- ・このため、上越高田IC及び新幹線新駅を核に、豊かな自然環境を生かしながら、良好な都市空間の形成を図っていくことが求められており、これまで様々な調査検討がなされてきた。
- ・平成17年3月に、本地区の中核となる「新幹線新駅地区土地区画整理事業」が始まり、JR信越本線脇野田駅を中心とした約28.5haの地区において、信越本線の移設、北陸新幹線新駅上越妙高駅の設置などと一体的に上越地域の新たな玄関口にふさわしい都市基盤を整備するため、道路、下水道等の整備、各種調査・設計等が進められている。
- ・土地区画整理事業区域の西側に隣接した区域では、平成17年の埋蔵文化財調査により蓋蓋遺跡が新たに発見された。この蓋蓋遺跡は平成20年に国の指定を受けた最近注目された文化財で、調査研究が進行していない状況にあり、「上越市歴史文化基本構想(H23.3)」において整備を優先する文化財地域とされており、史跡の保存活用計画を策定し事業実施に向けた取り組みが進められている。
- ・平成19～23年度には都市再生整備計画事業(第1期)により新駅周辺の整備が一体的に進められている。道路・下水道等の都市基盤の整備や新駅関連施設の調査・設計等の実施とともに、街並み形成活動推進事業では地域住民が参加する会議等を開催し「上越市新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想」や「地区計画」が策定され、魅力あるまちづくりに向けた環境整備などまちづくりが進められている。

#### 課題

- ・新駅周辺の都市基盤の整備: 市の新たな玄関口の形成、広域的な拠点性の強化を図るため、新駅を中心に土地区画整理事業、信越本線の移設等、都市基盤の整備などを一体的に行う必要がある。
- ・魅力的な都市機能の誘導: 駅周辺では賑わいのある魅力的なまちづくりを行うため、交通結節機能を強化、多様な都市機能等を誘導、安全・安心で利便性のある上越らしさを活かした環境整備を行う必要がある。
- ・新駅周辺整備効果の周辺地域への波及: 新駅周辺整備の整備効果を周辺地域へも広く波及させるため、新駅へのアクセス道路など必要な都市基盤等の整備を推進していく必要がある。
- ・遺跡の確実な保全と適切な活用: 「上越市歴史文化基本構想」に従い、蓋蓋遺跡の保存と活用を図るため、蓋蓋遺跡公園の整備を推進する必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 「第5次総合計画」改定版(平成22年12月上越市)
- ・本地区は、市の玄関口「ゲートウェイ」に位置づけられ、「観光・業務等を目的とした来訪者をもてなす環境整備」、「都市拠点をはじめ市内との円滑な移動を実現する交通施設の整備」、「既存住宅地との調和に配慮した良好な住環境の整備」が計画されている。
- 「新幹線新駅周辺地区の土地利用方針」(平成22年12月上越市)
- ・上越地域の玄関口にふさわしいまちづくりのための土地利用方針として(1)新幹線駅利用者の利便性の確保、(2)広域的(北信越地域)な拠点性を強化、(3)中心市街地との適正な機能分担、(4)既存市街地の機能強化、(5)良好な環境の形成と活用が計画されている。
- 「上越市新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想」(平成22年12月上越市)
- ・上越市の新たな玄関口として、周辺の自然環境や景観にも配慮した質の高いまちづくりを推進する。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
駅前広場整備の満足度	%	対象区域内住民へのアンケート調査に基づく、駅前広場の整備に対する満足度	高質空間形成施設、駐車場等の駅前広場関連施設による魅力のある新駅周辺整備について、地区住民の駅前広場整備の満足度の向上により確認する。	25.3	H23	60	H28
駅へのアクセス性(満足度)	%	対象区域内住民へのアンケート調査に基づく、駅へのアクセスがしやすいと感じる割合	信越本線移設や道路整備による交通結節機能の強化、周辺地域への波及効果について、地区住民の駅へのアクセスのしやすさの満足度の向上により確認する。	51.7	H23	62	H28
区域内の世帯数	世帯	対象区域内の世帯数	土地区画整理事業、道路、下水道等による都市基盤の充実の効果を対象区域内の世帯数の増加により確認する。	1,350	H23	1,400	H28

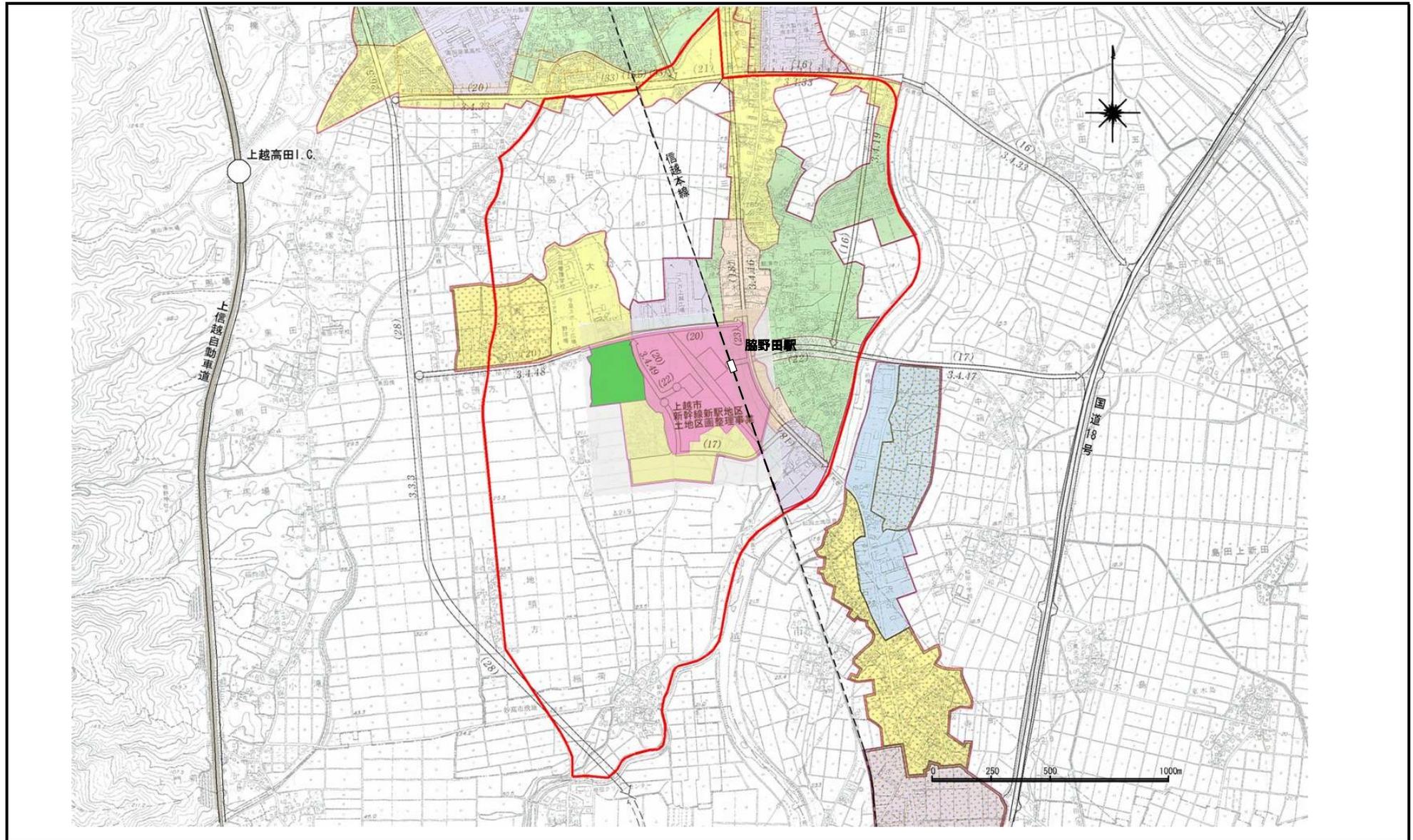
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(駅周辺の都市基盤の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年春の北陸新幹線の開業のスケジュールにあわせて、新駅周辺の都市基盤の充実、交通結節機能の強化、周辺地域への波及効果を図る都市基盤の整備を推進する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「下水道事業」 (汚水[高田南部処理地区]、雨水[脇野田第二排水区、脇野田第三排水区、脇野田第三排水区排水路])</li> <li>「道路事業」 (市道大和上中田線、市道大和二丁目5号線、市道大和二丁目3号線、新幹線駅環状線(街路)、東城町脇野田線(街路)、市道信越本線跡地線)</li> <li>「地域生活基盤施設」 (調整池)</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域創造支援事業」 (信越本線移設事業)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線新駅地区土地区画整理事業</li> <li>脇野田岡原線整備事業(街路事業)</li> </ul>
<p>整備方針2(魅力のある新駅周辺整備の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上越らしさを活かしたまちなみ景観の形成、自動車の利便性と歩行者の回遊性を高めた、魅力ある駅周辺整備を推進する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「高質空間形成施設」 (自由通路、駅前広場シェルター、電線類地下埋設施設、駅前街区公園(東側・西側)、公衆トイレ(東側・西側))</li> <li>「地域生活基盤施設」 (駐車場(東側・西側))</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>釜蓋遺跡公園整備事業</li> </ul>
<p>整備方針3(住民参加によるまちづくりの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新駅周辺整備の状況にあわせて地域住民のまちづくり活動等を通じて、地区の特性を活かしたまちづくりを推進する。</li> </ul>	<p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「事業活用調査」 (信越本線跡地利用検討調査)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>まちづくりの目標の達成に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市では、北陸新幹線の開業効果が発揮されるよう、行政・民間企業・市民等が役割分担し全市で取り組むため、平成23年2月に「新幹線まちづくり行動計画」を策定した。</li> <li>平成23年4月には、「新幹線まちづくり行動計画」を着実に推進していくための組織として、「新幹線まちづくり推進上越広域連携会議」を関係5市を含む官民30団体により設立し、地域の機運醸成とPR活動等、行動計画に基づいた様々な取り組みを行っている。</li> <li>新駅周辺に市が整備する、東西昇降施設、自由通路及び駅前広場などの公共空間の機能・デザインについては、有識者や公募市民で構成する「まちなみ検討会議」において検討し、その成果を平成22年12月に「上越市新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想」として取りまとめた。</li> <li>新駅周辺のまちづくりの方向性については、平成22年12月に「新幹線新駅周辺地区の土地利用方針」を策定し、平成23年12月には、それに基づいて、避けるべき建物の用途や景観形成などについて定めた地区計画の都市計画決定を行った。</li> </ul> <p>住民等による持続的なまちづくり体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会」では、新駅周辺整備等のまちづくりに関して協議し上越市の発展に資することを目的に、現地視察や研修会等を実施しており、市では補助金を交付し活動を支援している。</li> <li>「上越市新幹線駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会」では、良好なまちなみの形成と土地利用の促進を図ることを目的に、検討委員会を設置しまちづくりに関する検討をしており、市では、地権者主体で駅周辺商業地区の企業誘致、良好なまちなみ形成を実施するための新たな地権者団体を組織化するための支援を行っている。</li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

北陸新幹線上越妙高駅周辺地区(第二期) (新潟県上越市)	面積 376 ha	区域 大和1～6丁目の全部、今泉、脇野田、青木、荒町、上中田、地頭方、稻荷、高田新田の一部
------------------------------	--------------	--



## 北陸新幹線上越妙高駅周辺地区(第二期) (新潟県上越市) 整備方針概要図

目標	大目標: 上越市の恵まれた交通利便性を生かした広域的(北信越地域)な拠点性を強化する魅力的な都市づくり	代表的な指標	駅前広場整備の満足度 ( % )	25.3 (23年度)	60 (28年度)
	目標1: 新しい玄関口にふさわしい地区の特性を活かした高い利便性や快適性を有する、質の高い新都市空間を形成する		駅へのアクセス性 ( % )	51.7 (23年度)	62 (28年度)
	目標2: 広域的な拠点性を強化し多様な都市機能を誘導する土地利用の促進を図る環境整備を推進する		区域内の世帯数 ( 世帯 )	1,350 (23年度)	1,400 (28年度)

